



## おひなまつり



今日は、ひなまつりのお話です。旧暦<sup>きゅうれき</sup>3月は、現在の4月にあたり、その時期に桃<sup>もも</sup>の花が咲くので、桃<sup>もも</sup>の節句といわれています。

3月3日のひなまつりには、女の子の健やかな成長を願い、ひな人形<sup>かざ</sup>を飾り、ごちそうを食べて祝います。

ひなまつりのごちそうには、「ちらし<sup>ずし</sup>寿司」や「ひしもち」などがあります。  
ちらし<sup>ずし</sup>寿司

には「災いをちらし、これから1年間、毎日幸せに過ごすことができますように」という願いが込められています。また、ひな人形と一緒に<sup>いっしょ</sup>かざるひしもちの色は、上から赤、白、緑です。赤は「魔<sup>ま</sup>よけと桃<sup>もも</sup>の花」の色、白は「清らかさと雪」の色、緑は「健康と新芽」の色で、これから訪れる春を表しています。

昔から伝えられてきたそれぞれの行事食の意味を知り、春を感じながら、今日の給食の「ひなあられ」をいただきましょう。